

# 平成22年度 各協議会・部会活動報告

## 《病院栄養士協議会》

病院栄養士協議会長 国仲 朝代

平成22年度は、診療報酬改定により新設された栄養サポートチーム加算への取り組みがなされました。この加算は平成18年度より施行の栄養管理実施加算を踏まえた、栄養サポートチーム(多職種からなるチーム)による栄養改善の取り組みへの評価です。加算の施設基準等に関する研修会・講習会等が多く開催され、其々の病院の取り組みが活発な年でした。23年度は、この活動状況や課題等に関する勉強会が開催されていくと思われます。また、患者様を取り巻く環境が病院だけにとどまらず、福祉、行政、地栄、学校、研究機関との連携が重要となってきた現状があります。各々の協議会との情報も共有しながら、地域連携をも含めた活動にしていきましょう。

### 〈活動状況〉

1. 研修会 平成22年度診療報酬改訂～栄養サポートチーム加算について～

公立学校共済組合 管理栄養士 廣田 貴子

2. 地域活動

①小児糖尿病サマーキャンプ 8/18～8/21 玉城青年の家

②糖尿病週間行事 展示・栄養相談・講演会

③看護協会での講演会・調理実習 「高齢者の食事」

④IBD友の会、調理実習

⑤県民健康フェア 栄養相談

⑥栄養ケアステーションでの電話栄養相談(月曜日午後2時～5時) 18回/年

3. CKD戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)への協力

4. J-DOIT2 2型糖尿病を支援するシステムの有効性に関する研究協力

※. 22年度は栄養部門実態調査が行われました。(回収率60%)今回は、具体的な数値を求める内容が多く、統計に手間取ったと事と思います。多忙な中、ご協力ありがとうございました。

## 《地域活動栄養士協議会》

地域活動栄養士協議会長 狩俣 美智子

平成22年度は、市町村ヘルスアップ事業やクリニックにおける栄養相談、保育園や学校、地域での食育の講師、高齢者の介護予防教室の講師、那覇市委託事業の外食アドバイザー派遣事業等に加え、企業とタイアップした健康クッキング、5ADAY事業に協力し食育活動の実践の機会を増やす事ができました。また、食育月間では食育寸劇を披露し、「うちな一版

食育カルタ」も食育に貢献しているところです。

全国地栄協では、特定保健指導に関わる会員の実態調査、全国地栄会員作成媒体紹介集の作成が行われました。

多くの会員が各種イベントに関わり、マスコミの執筆依頼、出演依頼等にも快く対応し幅広く活動することができ深く感謝しております。

栄養ケアステーションの広報活動も本格的に始動し、皆様の活躍の場が増えることが想定されます。会員相互の情報の共有で、他機関・他職種との連携を図りながら各自が持てる力を出し合い新しい分野にも挑戦できるよう、ご意見、ご指導、ご協力を希望し定例会へのご参加をお待ちしております。

〈平成22年度定例会の主な活動内容〉

毎回：研修・事業報告、今後の予定、事業の進捗状況、CS情報、情報交換等

4月：交流会、梅製品試食会

7月：勉強会（講師の心構え、介護予防について、食事チェック表の紹介）

9月：勉強会（高齢者の体の変化、食ベトレ体操、ペットボトルうがい用受け皿、水呑み器の紹介）

10月：栄養士研究発表会予行演習（小児科医院における食物アレルギーの栄養談）

11月：訪問栄養食事指導の概要について

12月：工場見学（まえさと、三倉食品）、交流会

2月：梅の利用法、調理実習

3月：勉強会（日本食品標準成分表2010について）

（5，6，8，1月は他事業との関係で中止されました。）

★平成23年度定例会予定・・・4月、6月、7月、12月、2月、3月の第3土曜日

時間：10時～12時 場所：栄養士会事務所

（他事業とかがち合う場合は、変更や中止もありますので事務局に確認してご参加ください。）

## 《行政栄養士協議会》

行政栄養士協議会長 砂邊 里佐

今年度も引き続き、特定健診・特定保健指導の業務が、市町村栄養士の重要な課題であり、業務の中心でもありました。それに加えて、食育基本法に伴う「第2次食育推進計画」が平成23年3月31日に公表され、その推進が図られているところであります。

効果的な栄養指導を担うことはもちろんですが、施策として業務を円滑に推進するために、行政栄養士がどのように取り組めばいいのか、行政部会としても地域の栄養士さんに呼びかけて研修会を開催し、栄養士会会員の情報交換をいたしました。また、行政部会のメーリングリストを作成し、情報の共有化を目指しております。東日本大震災における日本栄養士会の活動等、リアルタイムに会員に提供できた事は、行政栄養士として地域の健康危機管理を考えるうえで重要だったと思います。

これからの課題としては、更に健康危機管理体制の検討や地域の保健サービスにおける栄養士の質の向上等、取り組まなければならない事案が多くあり、栄養士行政部会として取り組んでいきたい。

## 《福祉栄養士協議会》

福祉栄養士協議会長 上間 鈴美

平成 22 年度は、平成 24 年度に向けて介護報酬・診療報酬の同時設定や、さらに障がい者福祉サービスの報酬設定、保育所における食育加算などの検討がされていて調査協力が求められた年でしたが年度末の 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震で全国福祉協議会代表者会議が中止となり、中央においては計画停電でデータの集計が困難の状況にあると思います。

これからの課題として、高齢・障がい・児童で働く管理栄養士・栄養士がそれぞれの専門性のレベルアップが図られる福祉部として取り組んでいきたいと思っています。

### <研修会>

#### ①全国福祉栄養士協議会 第 15 回専門研修会

平成 22 年 7 月 10 日（土）・11 日（日）九州ブロック会場

- ・「摂取基準の考え方（総論を中心に）について」・評価に基づく「栄養補給量の決定」  
障がい（5 人参加）、高齢（1 人参加）

#### ②調理実習 地産地消「冬瓜づくしの料理」

平成 22 年 8 月 21 日（土）13:00～16:00 浦添市中央公民館 2 階 料理実習室

#### ③福祉栄養士研修会 平成 22 年 11 月 12 日（金）13:30～

「食物アレルギーについて」 講師：豊見城中央病院 奥間 稔 先生

「アレルギー対応レシピの紹介」米粉を使ったおやつ 講師：浦添市役所 崎原 和子

### <福祉協議会定例会>

毎月第 3 水曜日 午後 7 時 30 分から栄養士会事務局にて

\*多くの会員のご参加をお待ちしています。

## 《学校健康教育栄養士協議会》

学校健康教育栄養士協議会長 石川 理恵

平成 22 年度は、協議会会員の勉強の場を設けることを目標に取り組みました。

金城典子氏を講師にむかえ、糖尿病の食事療法についての勉強会を行いました。23 年度も継続して、会員のスキルアップにつながる勉強会を開催する計画を立てています。

県栄養士会の事業にも会員の協力を得て活動しています。

他にも、それぞれ学校での授業や PTA 等からの講師依頼などがあります。

今後も子どもたちの健康のために、会員同士協力していけるようにしたいと思っています。

### 〈主な活動〉

- 小・中学校での授業と献立による食指導
- 栄養ケア・ステーション
- 県民健康フェア
- おきなわ花と食のフェスティバル 等

### 《**集団健康管理栄養士協議会**》

集団健康管理栄養士協議長 儀保 玲子

平成22年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。

今年度の栄養士研究発表会には、宮国由紀江さんが「先人の残した食文化」“食はクスイムン”と題して発表し、さらに2月に東京で開催された全国集団健康管理栄養士協議会研修会には共同研究者である伊藝亜紀江さんと参加するとともに、九州代表として発表し多大な成果をあげることができました。発表するにあたって琉球大学の新城澄枝先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

集団健康管理は会員が少なく、協議会独自の事業は難しいのが現状ですが、平成23年度は、勉強会を計画し会員のスキルアップをめざすとともに、他の協議会と連携し、事業を計画するなど協議会を充実させていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 〈主な活動報告〉

- ・新人栄養士研修会
- ・生涯学習会
- ・栄養士研究発表会
- ・管理栄養士国家試験対策講座
- ・メタボリックシンドローム予防のためのブラッシュアップセミナー
- ・県民健康フェア
- ・臨床栄養講座

### 《**宮古栄養士会部会**》

宮古栄養士会部会長 天久 太志

今年度の活動は「栄養に関する関係諸機関および団体に協力するとともに、栄養士の資質の向上を図り、地域の福祉の向上に寄与する」事を目的に取り組みました。今年度は、昨年度実行できなかった小学生料理教室をはじめ、宮古島市より依頼された調理師試験講座の講師を引き受け、また、宮古島徳洲会病院副院長先生の増成秀樹先生による、「地域栄養サポート」の講演会を実施する事が出来ました。地域への協力として、宮古島市健康増進計画推進会議と、宮古島市食育推進計画作業部会に参加し、地域の健康増進・食育推進に、栄養士会としても積極的に参加・協力する事を確認しました。

「小学生料理教室」では、早くからメニュー作成に取り掛かり、小学生が楽しく料理できるよう工夫を凝らし、2回の試作を経て本番を迎えました。参加者は、小学生19名中学生1名の参加がありました。料理好きな小中学生とあって、手際も良く、楽しく実習を終える事

が出来ました。今後も毎年の恒例行事として続けて行きたいと思っています。

「調理師試験講座」は、8月31日の調理師試験に向けての講座で、7月28日～8月27日まで1カ月間、3時間の講座10回で行われました。栄養士会としては初めて依頼を受け、講師を務めました。受講生18名が試験に挑み15名が合格(合格率83.3%)でした。宮古島市全体としましては合格率68.8%と県内トップの成績と聞いています。こちら、恒例行事として、地域に貢献していきたいと思っています。

栄養士会員のスキルアップを目的とした講演会も行われ、宮古島徳洲会病院の増成医師による、地域一体型の栄養サポートを目的とした「栄養サポートチーム(NST)について(沖縄栄養士会宮古支部・大塚製薬工場共催)」の講義が行われ、栄養士17名、調理師1名、医師1名、看護師4名、薬剤師1名、PT1名、ST1名、介護士3名、MSW1名の参加がありました。宮古島で完結した栄養サポートをめざして情報の交換、ネットワーク作りを栄養士会としても協力していきたいと思えます。

課題としましては、島内の栄養士で栄養士会未加入の方も多くいるため、周知徹底を行い、魅力ある行事予定を計画して、たくさんの方に会員になっていただき、共にスキルアップや情報交換の場にできたらと考えています。そして、少しずつ、地域に還元できるよう日々取り組んでいきたいと思っています。

## 《八重山栄養士会部会》

八重山栄養士会部会長 内原 たみえ

今年度も5つの目標を掲げ、会員の積極的な参加のもと活動してまいりました。

- ① 地域に根ざした栄養士会活動の展開と広報活動の強化
- ② 定期的な拡大役員会の開催
- ③ 各専門班の活動の強化
- ④ 沖縄県栄養士会との連携
- ⑤ 研修会の開催に取り組んできました。

今年度は、目標にも掲げているように、地域に根ざした活動として食育の日(毎月19日)に会員が「食」についての思いや栄養士会の活動、お知らせ等を地元新聞紙へリレーエッセーとして掲載し、健全な食生活の推進と併せて会のPR活動を行っています。また、協力事業として石垣市主催の「健康福祉祭り」での八重山栄養士会コーナーの設置、八重山地区保健医療協議会への出席、母子保健事業(乳幼児検診)への栄養士派遣、毎年恒例となりました八重山保健所主催の「ヘルシーメニューコンテスト」への共催、各専門班では夏休み親子料理教室、保育所での食育寸劇(行政・地域活動班)、食育指導の進め方について授業研究会(学校班)等も積極的に行い、反省をふまえながら班活動の充実と個々のレベルアップを図る部会活動を展開し、今後も地域の皆さまの健康増進に関わっていききたいと思えます。

## 《糖尿病療養部会》

糖尿病療養部会長 福里 勝子

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間等の協力と、部会員への弥生、さかえの発送作業等を行っています。糖尿病に関する研究として「食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究」は、研究を始めて今年で5年になります。一昨年は、簡易 OGTT 検査（被験者の妥当性を確認する為の検査）を行い、昨年については、沖縄県民がよく食べている“沖縄そば”についての研究を行いました。今年は、今までの研究の解析等を行い、会員の皆様にも報告できたらと考えています。

また、今年の研修会は、新しい取り組みとして、グループワークを計画しています。日常の栄養指導業務において、難渋している症例等あれば、意見交換をして、栄養士一人一人のレベルアップを図る事ができたらと考えていますので、会員の皆様、参加宜しく願い致します。共に学んでいきましょう！

小児糖尿病サマーキャンプや全国糖尿病週間、糖尿病に関する研究には、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとうございました。

### 〈活動内容〉

#### 【1】研修会(全3回)

6月5日「炭水化物に着目した2型糖尿病の食事支援(実践編)」金城 典子先生

9月16日「糖尿病眼合併症」首里眼科院長 宮平 誠司先生

3月5日「インクレチン関連製剤について」みなみしまクリニック院長 島袋 毅先生

#### 【2】研究「食品及び料理による食後血糖値の変化について」

6月13日・6月20日、9月12日、10月3日、2月13日、2月27日

検査食：沖縄そば、うどん等

#### 【3】第33回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ 8月18日～21日、玉城少年自然の家

#### 【4】第46回 全国糖尿病週間講演10月23日

講演「バランスのよい食事で健康作り」吉田陽子 ・ 栄養相談・パネル展示等

#### 【5】世界糖尿病デー 11月14日 北谷町美浜

#### 【6】第3回美ら海ウォークラリー 11月21日 西原マリンパーク

〈執筆〉 弥生「超美味県産品料理レシピ」執筆12月号

中頭病院 仲村美穂 “どうるわかしー”

### 〈その他〉

○平成22年小児糖尿病福祉功労賞授与 金城 典子

○「食後血糖コントロールと食品選択」栄養士研究発表会 宮平慎子 10月20日